

岐阜県生活技術研究所は
快適な生活空間の創出と地域産業振興のために
新材料・新製品の研究と技術支援を行っています

- 中小企業技術者研修のご案内
- 受賞のご報告
- 夏休み親子学習のご報告
- 出前トーク等のご報告

中小企業技術者研修を開催します | ぜひご参加ください [担当：宮川・木村]

当研究所では地域企業の人材育成を支援するために、中小企業技術者研修を開催しています。
本年度は「製品」をテーマとして、外部講師と研究所職員による全3回の研修を開催いたします。

本年度の目的

木工加工業において日用品から建材までの開発を考える際、製品評価とデザインが重要な位置づけとなります。木質材料や木製品の評価方法を理解することは構造や形状設計に必要であり、製品デザインを考えることは製品の美観や機能的な価値を付与するために必要です。

そこで今回は、家具製造業、建材製造業、住宅・建材製造業の技術者の方を対象に製品評価とデザイン開発に関する研修を行います。

開催案内

対象：岐阜県内に事業所を有する中小企業者
およびその従業員

日時：12月4日(月)・11日(月)・15日(金)
各回 18:30~20:30

会場：岐阜県生活技術研究所 3F会議室
定員：20名
費用：1名につき **2,000円**

申込方法

当研究所のホームページにてご案内している
申込書に必要事項を記入し、研修担当者宛に
ご提出ください。

申込期限：**11月17日(金)**まで

※ 定員に達しご参加いただけない場合はご連絡致します。

問い合わせ・申し込み先

岐阜県生活技術研究所
〒506-0058 岐阜県高山市山田町1554
TEL:0577-33-5252 FAX:0577-33-0747
(研修担当：宮川・木村)

研修の内容

第1回：12月4日(月)

木材材料評価

— JASに準じた木材接着試験方法 —

公益財団法人日本合板検査会名古屋検査所
所長 森本恭央 氏

第2回：12月11日(月)

プロダクトデザインの事例・開発手法

— 中部地域中小企業・異業種を例に —

KEISUKE FUNAHASHI DESIGN
代表 舟橋慶祐 氏

第3回：12月15日(金)

製品評価

— 製品アンケート手法・家具強度試験 —

生活技術研究所職員
人間工学担当者・家具強度試験担当者



昨年度の様子



当所の研究員が中部公設試験研究機関研究者表彰を受けました

この表彰は中部地域の公設試験研究機関に所属する研究者を対象に、研究活動意欲の高揚を図り、地域産業の発展に寄与するため、産業技術の研究に顕著な業績を挙げた方（研究功績者）、並びに業界への技術指導者として永年にわたり多大な貢献をした方（指導功労者）が表彰されます。今年度は研究功績者5名、指導功労者4名の表彰があり、当研究所の藤巻吾朗専門研究員は**中部科学技術センター会長賞（研究功績者）**を受賞いたしました。

表彰の内容

中部科学技術センター会長賞 生体計測に基づいた椅子・シートの 設計指針の構築と製品開発への応用

藤巻研究員は当研究所において、人体の寸法や形状の計測から座り心地の良い椅子の設計指針を導出し、地域企業での製品化支援を行ってきました。本表彰ではこの一連の活動を評価され、受賞に至りました。今後も地域産業の益々の発展のため、研究活動を続けていきたいと思っております。



授賞式の様子

夏休み親子学習を開催しました

8月1日(火)～10日(木)に夏休み親子学習として「からだに合わせた正しいつくえといすの使い方教室」を開催しました。

この教室は「子どもに適した家庭用家具の設計指針に関する研究」の一環として実施し、親子9組に参加していただきました。お子様の身長や座高などの体のサイズを測定し、適正な机と椅子の高さを計算しました。



姿勢の例（左：大人用、右：サイズ調整済）

出前トーク等を実施しました

8月22日(火)に県立郡上高校の学生さん6名に出前トークを実施しました。学校の授業で製作された座イスのクッション部分について当研究所職員が技術指導を行いました。

8月21日(月)と8月23日(水)には高山市立日枝中学校の2年生1名に職場体験を実施しました。当研究所の技術支援業務から研究開発業務まで、幅広く体験していただきました。

当研究所では各種講義や研修を随時受け付けております。ぜひご活用ください。



出前トークの様子